

# ひびきあい No.6

平成20年3月 岐阜県人権同和教育協議会

## 自分を見つめ、自分はどうするかを考えた「ひびきあいの日」

### ～すぐれた取組や継続した取組を行った120の園・学校を表彰～

平成18年度から、県内の公立幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校で取り組まれている「ひびきあいの日」は、人権同和教育における行動力の育成を主な目的として、人権問題に対する実践的態度の育成を図り、人権感覚を高め、同和問題をはじめとする様々な人権課題の解決をめざしています。

2年目にあたる本年度においては、人権週間（毎年12月4日～10日）のうち、各園・学校が設定する日を中心に、人権に関する各学校の1年間の取組の集大成となるような活動や、家庭や地域と連携した活動等が行われました。各学校において、工夫ある活動や計画的、継続的なすばらしい活動が行われる中、子どもたち一人一人が自分を見つめたり、これから自分はどうしていきたいかを考えたり、ひたむきに活動に取り組んだりするといったすてきな姿がたくさん生まれています。



おじいさんたちと仲良く



地域の方とディスカッション



保護者の方との討論会

ひびきあいの日  
キャッチフレーズ

- 幼稚園
- 小学校
- 中学校
- 高等学校
- 特別支援学校

みんな なかよし  
つなごう 人と人 心と心  
あなたの心を行動に  
磨こう人権感覚 つくりあげよう共生社会  
心と心で支え合い 笑顔あふれる毎日に



地域の方に案内状を手渡し



人権課題の展示会

友達を大切にす標語  
あそぼうは  
いいことばだよ  
さあ あそぼ  
小学校 1年生

人権標語

各園・学校から送られてきた学校だよりや児童生徒の感想文等の資料から、多くの学校が事前から十分な計画を立て、1年間を通じて人権について考える学習を継続していること、あいさつや清掃活動、言葉遣いを考える活動等、子どもの身近なことや地道な取組に力を注いでいることが伺えます。

また、活動を通して児童生徒に考えさせたり、まとめの集会や人権宣言、標語づくり等の形で取組を締めくくり、子どもの姿や心の変容を見届けようとしていたりするなど、「ひびきあいの日」がより充実してきていることが伺われます。こうしたすぐれた取組に対して、本年度は幼稚園・学校あわせて120校が表彰されました。

## 自分自身の人権感覚を磨くために -自己点検項目(例)- 自分の人権感覚を以下の項目に照らして考えて見ましょう。

- 同和問題をはじめとする様々な人権問題について、研修等を通して常に正しく理解し、差別されている人の痛みを感じ、人権を尊重する教育の充実に努めるよう心がけていますか。
- 教科の授業や道徳の時間、総合的な学習の時間等において、学校における全ての場面で人権同和教育を実践することを心がけていますか。
- どの児童生徒にも分け隔てなく挨拶したり、声をかけたりしていますか。児童生徒を呼び捨てにしたり、あだ名で呼んだりしていませんか。
- 児童生徒を理由も聞かずに叱っていませんか。「こんなことも分からないのか」など、心を傷つけるような言葉を口にしたり、体罰を加えたりしていませんか。
- 他の児童生徒と比べてほめたり、叱ったりしていませんか。「君はいつも〇〇だ。」「あの子は〇〇だ。」などと、決めつけた見方や言い方をして接していませんか。
- 誤答や失敗を冷やかしたり、野次ったりするような言動がみられたとき、見過ごさずに指導していますか。児童生徒の机や椅子が壊されていたり、汚されていたりすることがないか常に確認していますか。
- 嫌がらせや仲間外し、いじめや暴力などを見過ごさずに指導していますか。「あなたにもいじめられる原因がある」など、いじめの原因を被害者の責任にしていませんか。被害者の側に立ちまわっていますか。
- 個人の成績や各種の調査結果等、児童生徒の個人情報やプライバシーを、不用意に掲示したり、無断で学校外に持ち出したり、情報を保護する十分な手段を講じていないことはありませんか。管理職等に相談せずに、児童生徒の情報を安易に外部に提供していませんか。
- 「あの学校は…」、「あんな職業に就いたら…」など、学校や職業に優劣を付けた言い方をしたり、進学や就職の面接練習等で、「あなたの家族はどんな人ですか」等の不適切な質問をするなど、偏見や差別を助長、温存する用語や不適切な表現を使っていませんか。
- 学校で頻りにメールをする等、携帯に依存するような姿を見逃がしていませんか。インターネット等による被害から、児童生徒を守るよう、家庭にフィルタリングサービス等に関する情報提供を行っていますか。

◆SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）やコミュニティサイトの掲示板プロフ（プロフィールサイト）等、ネットでの出会い（接触）が見えにくくなり、性被害やネットいじめ、違法・有害情報による被害等、児童生徒が身体的、精神的、経済的に被害を受ける事件が多発しています。子どもたちをこうした被害から守るために、教師は研修を通してネットの社会的現状を正しく把握し、計画的な情報モラル学習を実施するとともに、学校全体で、アンケート（実態の具体的な把握）、保護者との連携や啓発（PTA組織の活用や広報等）、関係機関との連携など、ネットトラブルに適切に対応できる学校の体制をつくりましょう。

- 【参考】
- ・「情報モラル」指導実践キックオフガイド（H19.3 JAPET 全学校配布済み）
  - ・<http://www.japet.or.jp/moral-guidebook>（文部科学省）
  - ・<http://www.cyberpolice.go.jp/kids/index.html>（警察庁）
  - ・[http://www.soumu.go.jp/joho\\_tsusin/security/index.htm](http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/security/index.htm)（総務省）

◆「あなたは、どんな本を読みますか」「あなたの短所はどこですか」等、中・高校生の採用選考試験における企業の不適切な質問が後を絶ちません。面接指導等で、同じような言葉や表現を教師が使っていることはありませんか？普段何気なく使っている言葉が偏見や差別の助長につながることを意識し、教師自身が確かな知識と理解をもち、人権感覚を磨きましょう。

- 【参考】公正な採用選考のしおり H19.2 採用選考自主点検資料（都道府県労働局・ハローワーク）

◆同和問題等、今も解決されていない差別の実態を認識し、児童生徒の心に響く指導を心がけることが重要です。また、教科や道徳の時間等では、人権同和教育の観点を設定し、認識力・自己啓発力・行動力を付けることを意識して指導し、例えば、道徳の時間の指導では、特に自分自身を見つめることを通して、自己啓発力を高め、人権感覚を育てることが重要です。

- 【参考】ひびきあい H15.3  
（岐阜県人権同和教育協議会）

◆教師は、日頃からどの児童生徒に対しても公平に、共感的・受容的な態度で接して、一人一人の児童生徒が自分がかけがえのない大切な存在と実感できるようにすることが重要です。また、一人一人に目を行き届かせることによって、児童生徒の小さなサインを見逃さずに、早期に指導・援助することができます。児童生徒理解に努め、いじめに先手の打てる教師になるよう努力しましょう。

- 【参考】ほほえみと感動のある学校をめざして〈改訂版〉  
（H18.11岐阜県教育委員会）

◆個人情報を含むデータ等を無断で学校外に持ち出し、それが漏洩する事件が後を絶ちません。「管理職の許可を得る」、「プロテクトをかける」など教師の情報モラルを高める必要があります。また、DV加害者である保護者から学校に対して「居場所を教える」と激しく追及される事例も起きています。子どもへの保護命令が発令されている場合の学校の対応、加害者からの問い合わせに対するマニュアルの作成等、ケースバイケースの対応ができるよう努めましょう。

- 【参考】配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する基本計画  
（H18.3県地域県民部男女共同参画室）

# 自分の大切さとともに 他の方の大切さを認め、行動できる人を目指して

## 駄知小学校附属幼稚園

地域の高齢者の方との継続的な交流から生み出す みんななかよし

### 実施概要

年3回の高齢者福祉施設の方とのふれあい活動を通して、優しい心、思いやる心、敬う心、素直な心や責任感を育てるよう計画的・意図的な指導に取り組んだ。歌の披露やプレゼント、散歩や1対1の遊びなどを訪問時に行った。

### 取組のすばらしさ

高齢者への関心を高める事前の取組や、取組の内容（披露できることやプレゼントしたいもの）の話し合い、次の訪問をよりよくするための振り返りなどを繰り返すなかで子どもたち自身が考えることを大切にしている。



## 県立郡上高等学校

不当な差別や偏見、いじめを許さない人権感覚を磨く

### 実施概要

1年目は「ハンセン病」を取り上げ、全校生徒対象の講演会を実施した。また、生徒代表が国立駿河療養所へ取材に行き、文化祭での展示発表を行った。2年目は、「いじめ撲滅」を全校テーマに、全校生徒対象の講演会を実施した。また、「いじめ」撲滅宣言を生活委員会が提唱したり、「いじめ」をテーマにした全校統一LHRを実施した。

### 取組のすばらしさ

2年間の取組の中で、生徒自身の手による活動や継続的な活動により全校一人一人の生徒が人権意識を高め、恒久的に人権尊重の心が育成されるよう取り組んでいる。

## 瑞浪市立瑞陵中学校

学校、家庭、地域の心のキャッチボールから育てる心を行動に

### 実施概要

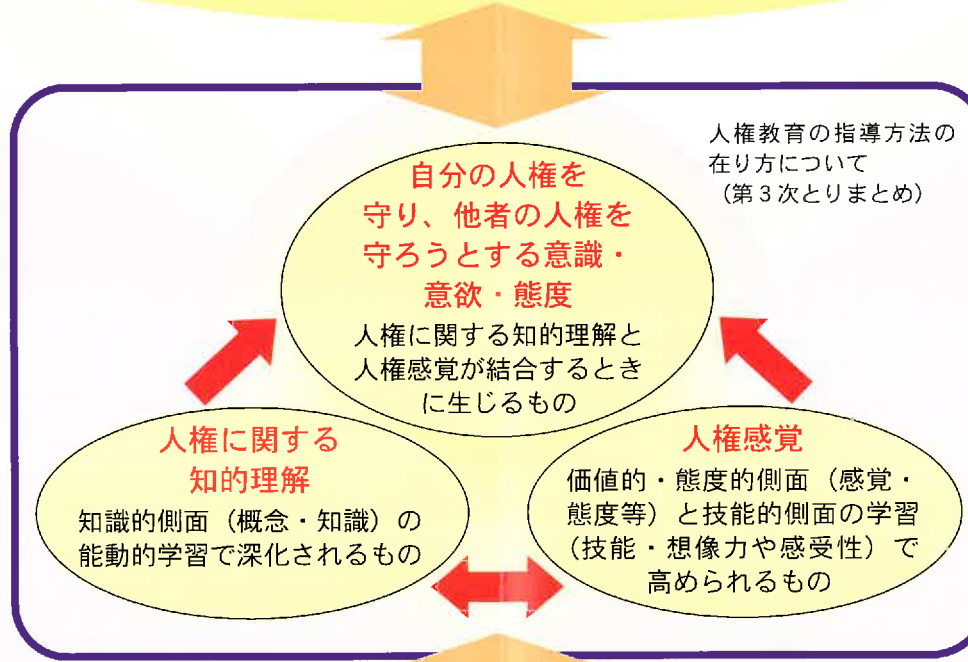
めくもりのある学校をめざし、人間関係づくりの視点から学校、PTA、地域が一体となった取組「人からもらったうれしい言葉集」や「子どもに伝えたい言葉～めくもりのキャッチボール集～」等を刊行した。また、地域ぐるみの道徳教育「心のかがやきづくり」、地域ぐるみの生徒指導「心の居場所づくり」に取り組む、挨拶運動や資源回収、清掃活動等に生徒会、PTA、青少年育成会議等が連携して積極的に活動した。

### 取組のすばらしさ

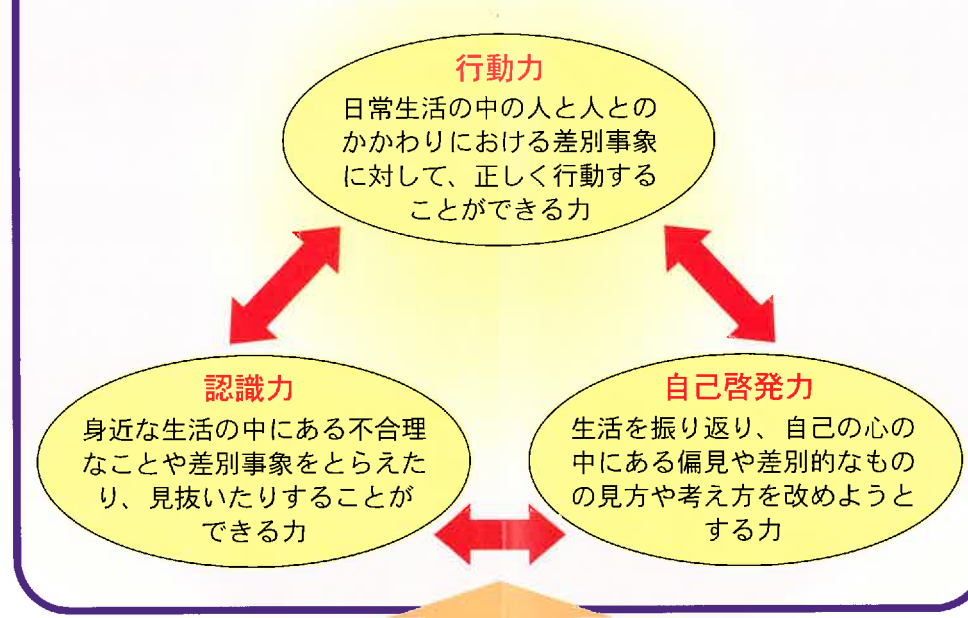
親と子をつなぐ「めくもりのキャッチボール集」や生徒・保護者・地域をつなぐ言葉集等を中心として、子どもや保護者、地域の方のできる限りの参加を得て、連携した活動を丁寧に継続している。また、保護者や地域の方からいただいた言葉を生徒・教職員が一つ一つ読み込んだり、地域や学校関係者の方々からの意見が得られるあらゆる機会を活用して、学校に対する率直な意見を得て今後に生かしたりするなど、地域ぐるみで生徒の心を育てることに努めている。



## 自分の人権を守り、他者の人権を尊重するための実践行動



## 学校教育における全ての教育活動を通して 3つの力を付けることを意図的に指導する



人権同和教育は、同和教育での実践を踏まえ様々な人権問題に対する認識力・自己啓発力・行動力を育成し、確かな人権感覚が身に付くよう、学校教育及び社会教育において行われる教育活動である。

「岐阜県人権同和教育方針基本」平成14年3月6日より

## 岐阜市立島中学校

人権課題のシリーズ学習を通して心を育て、行動に

### 実施概要

各学年ごとに、「いじめ」「障がい者差別」「同和問題」等をテーマに人権学習シリーズ（6時間程度）を実施した。個別の人権課題、例えば同和問題では、その歴史とともに結婚差別など今なお解決していない現状を具体的に学び、生徒自身が差別や偏見に対してどう取り組んでいくか考えた。

### 取組のすばらしさ

学習をシリーズ化して系統的な学習を実施し、これらの問題を正しく理解させ、差別されている人の怒りや悲しみに十分に共感させている。そして、これまでの自分を振り返り、自分もつ偏見や差別心に気付かせ、これからの自分の生き方や行動において、生徒が変容することを大切にしている。

## 垂井町立表佐小学校

「あいさつ」に取り組み続けるなかでつなぐ 人と人 心と心

### 実施概要

「つなごう人と人 つなごう心と心」というテーマで「あいさつリレー運動」を年間を通して実施した。取組では、PTA、地域の方にも年間を通して関わっていただくなど、組織的・継続的な連携に努めた。また、年3回実施した人権集会においては児童会が主体となって、あいさつリレーや相手を大切にする言葉遣いについて考えるようにし、アンケート調査や活動の振り返りをもとに、児童の実態や変容を把握し、客観的な事実をもとに指導の改善に努めた。

### 取組のすばらしさ

年3回の計画的な人権集会の取組を核として、1年間を通して日常的で、継続的な指導や取組の積み上げに努めている。特に、各集会のねらいを明確にして実施し、3回の集会とその間の活動を通して学級と児童一人一人が確かな成長が得られるよう努めている。

あいさつも大切な人権（表佐小 6年）

…中略…今では、何も言われなくても6年生があいさつ運動をしています。これも相手を思いやる人権、思いやりかなと思います。これからは「あすえさん運動」（あ…相手に、す…進んで、え…笑顔であいさつをして欲しいという願いを込めて行うあいさつ運動）を続けて、あいさつからみんなの心をつなげていけるあいさついっぱい表佐小学校にしたいです。

## 郡上特別支援学校

自分を認めてもらう喜びから生み出す笑顔あふれる毎日

### 実施概要

あいさつ運動を通して、生徒全員がふれあうことに取り組むとともに、「みんなの宝物」週間を行い、お互いのよいところを認め合った。また、地域の公共施設で作品展や太鼓の演奏を実施した。

### 取組のすばらしさ

自分のよさを紹介する取組、仲間のよさを見つける活動、お互いのよさを認め合う活動を生徒会を中心とした生徒自身の手で実施し、生徒が肯定的に自己受容できるようにしている。

